

2026 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 S H I F T
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 丹 下 大
(コード番号：3697 プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 小 林 元 也
(TEL. 03-6809-1165)

報告セグメントの変更に関するお知らせ

株式会社 SHIFT（本社：東京都港区、代表取締役社長：丹下 大、以下「SHIFT」）は、本日開催の取締役会において、2026 年 8 月期第 4 四半期より、報告セグメントを変更することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 報告セグメント変更の理由

SHIFT は、2009 年のソフトウェアテスト事業の開始以来、エンタープライズからエンターテインメントに至る幅広い業界で、ソフトウェアの品質保証を主軸に事業を展開してまいりました。その後、品質保証で培った知見を土台に提供領域を広げ、現在ではグループ一体となって、企画・設計から開発、テスト、関連サービスに至るまでを一貫して提供する体制を構築しております。

2026 年より、SHIFT は AI 企業への本格的な転換を開始いたしました。売上高 3,000 億円を目指す成長戦略「SHIFT3000」のもと、既存サービスに AI を活用する「With AI（※1）」の強化と、AI を基盤とする「Native AI（※2）」による非連続的な成長の双方を進めております。この転換に伴い、従来のソフトウェアテストや開発に加えて、「AI モダナイゼーション」や「AI BPaaS」など、AI を軸とした新たなサービスへと提供価値を広げております。これらはいずれも、お客様の事業変革を上流のコンサルティングから実装、運用まで一貫通貫で支えるという、SHIFT グループに一貫した価値提供の延長線上にあるものです。

加えて、2025 年 10 月に発表したとおり、グループの成長を加速する投資機能としてファンドを創設し、外部資金も活用しながら、従来とは異なる形での M&A およびグループ経営を進めてまいります。

こうしたサービスの広がりや、お客様への提供価値の実態に即して適切に可視化し、経営管理と業績評価の精度を高めるため、SHIFT は期初より報告セグメントの変更を検討してまいりました。従来の会社単位を基礎とする区分から、提供するサービスを基礎とする区分へと見直すものです。

あわせて、期初より新たな枠組みによる業績管理を運用し、その有効性と定着状況を確認してまいりました。その結果、経営管理および業績評価の実態に適合していることを確認できたため、第 4 四半期および通期決算発表より報告セグメントを変更することを決定いたしました。

※1 既存のコンサルティング、開発、テストサービスなど既存サービスの提供において AI を活用し、効率化・付加価値の向上を図る、人を主体として AI を活用する案件

※2 従来の事業とは異なり、AI を主体として人が一部関与することを前提とする、AI により新たに提供可能となるサービスを含む案件

2. 変更の概要

■旧報告セグメント（2026 年 8 月期第 3 四半期まで）

報告セグメント	内容	主な関係会社
ソフトウェア テスト関連 サービス	主にソフトウェアテスト・品質保証、コンサルティング・PMO、カスタマーサポート、セキュリティなどのサービス	SHIFT、SHIFT GLOBAL、SHIFT PLUS、SHIFT ASIA、SHIFT SECURITY、クラブ、マスラボ、SHIFT USA、Japan Aerospace & Defense Consulting、SHIFT Arabia
ソフトウェア 開発関連 サービス	主にシステム開発、システム性能改善、IT 戦略策定、システム企画・設計、エンジニアマッチングプラットフォーム、データ分析などのソフトウェア開発プロセスに直接関与するサービス	メソドロジック、Stride Digital Group、ICCOM、ALH、システムアイ、分析屋、ホープス、SPST、DeMiA、クロノス、クレイトソリューションズ、CRAFT MILES、トラストブレイン、ヒューマンシステム、マネージビジネス、SHIFT AXIS、ニッセイコム、SHIFT・ステップホールディングス
その他近接 サービス	主に Web 企画制作、マーケティング、キッティング、クラウドサービス、ローカライズ、M&A/PMI（Post Merger Integration）、バイリンガル人材紹介など、ソフトウェア開発と近接するマーケットで、当社 の既存事業とは異なるビジネスモデルに基づくサービス	ナディア、xbs、エスエヌシー、CLUTCH、VISH、DICO、SHIFT グローブ・キャピタル、Build Plus、インフィニック、クラブネッツ、SGC 1 号投資事業有限責任組合



■新報告セグメント（2026 年 8 月期第 4 四半期より）

報告セグメント等	内容
コンサル	戦略・業務改善・DX などに係るコンサルティングサービス
開発	システム開発やパッケージソフトウェアの導入などのサービス
テスト	ソフトウェアの品質保証に係るサービス
BPaaS	カスタマーサクセス・ヘルプデスク・各種バックオフィス支援業務などのサービス
ファンド	投資および投資先企業の成長支援
その他	上記に分類されないサービス

（参考）新旧相関図

		旧報告セグメント		
		ソフトウェアテスト関連 サービス	ソフトウェア開発 関連サービス	その他近接サービス
新報告セグメント等	コンサル	○	○	
	開発	○	○	
	テスト	○		○
	BPaaS	○		
	ファンド		○	○
	その他	○		○

3. 変更の時期

2026 年 10 月 15 日に予定している、2026 年 8 月期第 4 四半期および通期決算発表より、変更後のセグメントにて報告いたします。

以 上

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

株式会社 SHIFT IR 室

メール：ir_info@shiftinc.jp